

6 年間の学習の流れ－国語

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年 (高1)	5 年 (高2)	6 年 (高3)	
目 標	<p>さまざまな文章を読み、言葉や文章の持つ働きを学びながら、自ら立てたテーマをもとに調べ、考え、発表する言語生活の基礎を確立する。また、日本古来の伝統や文化に関心を寄せ、現代に生きる若い世代としての考え方を持つための基礎を培う。学習の視野を広げるために、総合的な学習を重視する。</p>		<p>自らの関心領域を広げる読書・研究活動を重視し、社会と人間、現代世界と人類など、より広範囲な文章を読み、人生を深く思索する言語生活を確立する学習活動を展開する。日本の伝統をより深く学ぶ古典学習を本格的に行うための文法的な技術の習得に努める一方、人為と自然などをテーマにした研究活動を活発に行う。</p>		<p>後期中等教育の完成段階として、より高次で思索的な評論や小説を学びながら、人生や社会、国際化の諸問題にアプローチする言語活動を重視する。古典学習も、個々の研究テーマに基づく学習活動を導入していく。それらの総合的な力としての表現活動を重視し、自分の主張を鮮明に表現できる学力を育てる。</p>		
読 解 ・ 研 究	文学領域	<p>激しく移り変わる社会の現実で、同世代の人物の苦悩や喜びに共感を寄せられる文学的文章などを読み、今日を生きることの意味を考えていく。詩歌の鑑賞をするとともに自ら創作活動を行う。</p>		<p>近代作家の代表的な文学的文章を中心に学習し、近代の日本が抱え込んだ問題を正面から見つめるとともに、私とは何か、社会に生きるとはどういうことかを考察する。短歌などの韻文の世界にも触れ、創作活動を行う。</p>		<p>人生や社会に関する近代作家の思想と表現、文体を学び、国際社会、情報社会に生きる自己と他者のありようを内省的に考察する。</p>	
	評論領域	<p>自然と人間、社会の仕組みを考える説明的文章を読み、自分が気づいた問題を調べる学習活動を組織し、表現活動にも結びつけていく。</p>		<p>平和、環境、生命などをテーマにした評論を読み、人間が生きていくことの意味を深く問う学習を進めるとともに、その思索の結果を表現する方法を模索する。</p>		<p>自己と他者、科学と人間、夢と現実、社会と組織など、より高度な概念的な操作を必要とする評論を読み、抽象的、論理的思索を深め、その結果を他者に開く表現活動を重視する。</p>	
	古典領域	<p>平易な古文・漢文の素読を通して古典に親しむ。</p>	<p>文語文法・漢文法学習を基礎に、代表的な古典の学習をすすめる。テーマに基づく調査・研究活動を行い、日本人の精神世界に迫る。</p>		<p>より幅広い古典に接し、古典の解釈力の練成を図るため、緻密な学習研究活動を組織する。</p>		
言 語	口語文法 文語文法 漢 文 法	<p>口語文法の基礎を学習する。</p>	<p>文語文法の機能と体系・漢文法の基本を学習する。</p>		<p>古典読解に必要な事項の整理を行う。</p>	<p>文法の復習・演習</p>	
	語 彙	<p>読解や表現に必要な基礎的な語彙を習得する。</p>	<p>基礎的な語彙の活用から特化的な語彙の習得をめざす。</p>			<p>現代的語彙の整理</p>	
表 現	作 文 小 論 文	<p>自らの思考や感情を適切な材料、言葉で表現する。</p>		<p>効果的に表現するための構成やレトリックを学ぶ。</p>	<p>自らの主張をクリアーにする小論文学習を行う。</p>		
	音声言語	<p>自らの生活体験に基づく発表を行う。</p>		<p>社会と人間について、適切な素材を活用して発表する。</p>	<p>社会と人間の真実について考える話し合いの組織。</p>		
	書 写	<p>字形、配列などを意識し、また目的や必要に応じて、楷書や行書、仮名などを書く。</p>					